

教材名：笑顔のために	
主題名：人間の素晴らしさ	内容項目：D (22) よりよく生きる喜び

- 1 **ねらい** 人間のもつ強さや気高さを信じ、人間として誇りある生き方を見いだそうとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 自分の弱い心や強い心について考える。

- ① 自分の心は「弱い心」「強い心」と思うときはありますか。
- ・ 友達をうらやましくて、いやな気持ちになる時は、弱い心と思う
 - ・ 勇気を出して注意できたときは、強い心があったと思う
 - ・ 自分に自信がなくて、だめだなってすぐあきらめる時は弱い心
- ② 今日は、このような人間の「弱い心」「強い心」について考えていきましょう。

◇ 教材を読んで話し合う。

- ③ 弟に勉強を教えている時の「困っている両親」や「嫌がっている弟」を見ているとき、はるかさんはどんなことを考えていたのでしょうか。
- ・ いい加減にしてほしい、弟も嫌がっているのに
 - ・ 大変なら、やめればいいのに 嫌じゃないのかな
 - ・ なんてそんなに頑張ることができるのだろう
- ④ 「ハッとしました」とありますが、はるかさんは、どんなことに気付いたのでしょうか。
- ・ 二人の心を考えていないことに気付いた
 - ・ 勝手に、弟の力を決めつけて、何もしようとしない自分に気付いた
 - ・ 父が、自分や弟の障害をあきらめずに、少しでもできることを増やそうと頑張っていることのすごさに気付いた
- ⑤ はるかさんの両親は、どうしてこのように前向きに生きているのでしょうか。
- ・ 自分の障害に負けたくないという強い心を持っているから
 - ・ 自分の弱いところを、少しでも克服しようという気持ちが強いから
 - ・ あきらめて、そこで終わってしまうような弱い人間にはなりたくないから
 - ・ 自分ができることは、まだまだあると信じているから

◇ 自分との関わりで考える。

- ⑥ 今日の授業を振り返り、自分の「弱い心」や「強い心」について感じたことを書きましょう。
- ・ 弱い心に負けて、すぐにあきらめてしまう自分を変えていきたい
 - ・ 自分の可能性を信じて、自分の良いところをもっと増やしていきたい
 - ・ いろいろ悩むこともあるけど、弱い心に負けないように強く生きていきたい

3 指導上の留意点及び工夫

- ・ ①については、教師がいくつか例示し、生徒が自分のこととして考えやすくする。
- ・ ③④⑤を通して、迷いながらもよりよく生きようとすることの大切さに気付くようにする。
- ・ ⑥ではねらいに迫るために「私たちの道徳」P120を活用することも考えられる。

教材名：笑顔のために

主題名：公正・公平な社会に

内容項目：C (11) 公正，公平，社会正義

1 ねらい だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする心情を育む。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

◇ 「差別や偏見」について考えを發表する。

① 「差別や偏見」と聞いて、どんなことを思い起こしますか。

- ・男女差別や人種差別っていう言葉を聞いたことがある
- ・アイヌの人々が差別されていたという勉強をした
- ・絶対にしてはいけないこと

② 「差別や偏見はなぜうまれるのか」考えていきましょう。

◇ 教材を読んで話し合う。

③ 教材を読んで、心に残ったところはどこでしょう。

- ・はるかさんの両親が互いの良さを生かしながら支え合っていること
- ・障害がある家族を「誇らしい」と思うはるかさんが、すばらしいと思った
- ・「一人ひとりが大切な存在」という言葉が心に残った
- ・「かわいそう」という言葉がショックだったというところ 自分もかわいそうだと思っていた

④ この作文の中には、どのような「差別や偏見」が描かれているでしょう。

- ・近所のおばさんが、家族のことをよく知りもしないのに「かわいそう」と決めつけてしまっている
- ・はるかさんが病気の弟は勉強してもどうせできないと思ってあきらめてしまっている

⑤ なぜ「差別や偏見」が生まれるのでしょうか。

- ・人を見た目などで決めつけてしまうから
- ・自分と違うことは、「悪いこと」「かわいそうなこと」と思ってしまった時
- ・その人のことをよく理解しようとしないと、「差別や偏見」が生まれる

◇ 教師の説話を聞く。

◇ 自分との関わりで考える。

⑥ 今日の授業から、「差別や偏見」について考えたことを書きましょう。

- ・人を見た目で決めつけることは、自分もしていたかもしれない
- ・相手の思いや考えを本当に分かってもらうことが大切なのだと思う

3 指導上の留意点及び工夫

- ・④では「どうして、それを差別だと思ったの」「かわいそうと思うことは悪いことなの」と切り返し、考えを深めていくとよい。
- ・教師の説話では、公正・公平にできた体験やできなかった体験を話し、⑥へとつなげる。